



有馬

第565号

令和7年2月25日
中央区立有馬小学校
TEL 3 6 6 6 - 5 7 0 2
FAX 3 6 6 8 - 2 3 6 4

「ジグソーパズルの完成を目指して」

校長 小林 一輝

3月の行事予定

表題の「ジグソーパズルの完成を目指して」は、私の学校経営の中でも、とても重要だと思っている話で、毎年度末に必ず全校の子ども達にする話となっています。

私が担任をしていた時のクラスの話をしてもらいます。私のクラスでは、私からクラスの子どもたちへ、年度末の達成目標として「3月には、クラスの素敵なジグソーパズルを完成させよう！」というものを与えていました。「クラスのジグソーパズル？」と不思議に思う方もいるのではないのでしょうか。

ジグソーパズルには、一つ一つの形が違って色や絵も違う「ピース（かけら）」というものがあります。一人一人が、顔も姿も性格も、得意なものも違う、でこぼこで形も違うピース。クラスの全員が一つになって、お互いの足りないところを埋めていきながら、最後には素晴らしい絵や写真を完成させる。そんなクラスを作って欲しいと思って伝えていました。また、クラスでは子どもたちに次のような話もしていました。

みんなで素敵なジグソーパズルを完成するために一番必要なものは何だと思いますか？いろいろと必要なものはあると思いますが、私は「一人一人、みんなの心の色」だと思っています。自分一人だけがとても素晴らしい心の色を出していても、最後の絵や写真は完成にはなりません。周りの友達のことをよく見てみてください。「さみしそうな友達はいないかな」「悩んでいる人はいないかな」とよく見てみてください。そして、そんな悲しい心の色の友達がいたら、勇気をもって声をかけてみてください。みなさんの勇気と温かい気持ちで、その友達の心の色を素晴らしい色に変えていってあげて欲しいと思います。そして、みんなの心の色が素晴らしいものになれば、3学期の最後には「素敵なクラスのジグソーパズル」が完成するはずで、と・・・。

そんな学級担任としての想いをもちながらやってきた私も校長としての3年目が終わろうとしています。改めて、有馬小学校の全児童が、友達と関わり合いながら、認め合い、励まし合い、助け合いながら「素敵な有馬小学校のジグソーパズル」が完成するようしっかりと見ていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、子どもたち一人一人が主役となる「ジグソーパズル」を完成させるために、今後ともご協力をよろしく願いいたします。

3	月	全校朝会 クラブ活動（4.5.6）
4	火	保護者会（6）
5	水	卒業を祝う会（6） ※1～5年生は4時間授業
7	金	安全指導 遠足（6）
8	土	宇佐美学園修了式
10	月	全校朝会 委員会活動（5.6）
11	火	宇佐美学園出身校学習始
17	月	全校朝会
18	火	卒業式予行練習 ※1～4年生は4時間授業 5・6年生は6時間授業
20	木	春分の日（祝日）
21	金	特別支援教室終 給食終 大掃除 5時間授業（全学年）
24	月	卒業式（6） ※1～5年生はお休みです。
25	火	修了式 ※1～5年生は4時間授業 ※6年生はお休みです。
26	水	春季休業日始 （～4月5日）



3月の安全指導目標

- 【低学年】 校内での危険を理解し、安全な行動を確認する。
- 【中学年】 交通事故防止へ自分で工夫し、努力する。
- 【高学年】 自分の生命を大切にすることを理解する。

※行事予定等、変更がある場合には、

tetoru・HP・連絡帳等でお知らせします。

3月の生活目標

「学年のまとめをしよう」 学校生活をふり返ろう

学校生活の様々なきまりや挨拶・返事などが身に付いているかを振り返ってみましょう。新しい学年に向けて、今の自分を見つめ直し、新しい学年に向かってほしいと思います。

3月の保健目標

「健康生活の反省をしよう」

手洗い・うがいやマスクをはじめとした、予防方法を身に付けられたでしょうか。自分だけでなく、相手を守るためにもしっかりと続けていけると良いですね。

☆ありまっ子まつりを終えて☆

2月13日(木)にありまっ子まつりが行われました。今年のスローガンは、「みんなと力を合わせて 心に残る ありまっ子まつりにしよう」です。全てのクラスで児童が店を開くために、何回も学級会を開いて話し合いを行ってきました。当日も、お客さんを楽しませるために、友達と協力し、声を掛け合いながら店番をする児童の姿を見ることができました。改めて異学年交流のよさを感じた一日でした。



☆能楽鑑賞教室について (6年生) ☆

2月14日(金)に能楽鑑賞教室で二十五世観世左近記念観世能楽堂に行きました。事前に能楽師の方に、日本で700年前から始まった世界最古の総合芸術である能について、能舞台の特徴や能の有名な演目などを教えていただいたので、実際の能舞台を見て子供たちは感激していました。

能楽堂では笛・小鼓・大鼓・太鼓を演奏する囃子方に各楽器を説明していただき、子供たちは演奏に合わせて小鼓の動きをしました。演目は、国語で学習した狂言「柿山伏」と能「安達原」でした。狂言の面白さや能の独特な表現を子供たちは楽しんでいました。とても貴重な経験ができた一日でした。

☆人権コーナー～ありまっ子まつりでのペア学年交流～☆

1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペア学年となり、それぞれの学級で考えた遊びを通して異学年交流を行いました。どの学級も創意、工夫を生かしたお店を作り上げ、自分の役割を果たしながら、楽しく活動する姿が印象的でした。5年生の感想を一部紹介します。

- 3年1組のしゃてきに行ったとき、3年生が「いらっしゃいませ」と元気に接してくれました。また、うつときには、的をねらいやすいように3年生が声をかけてくれました。(5-1 佐藤立空)
- 楽しかったお店は、3年1組のしゃてきです。手作りの鉄砲には色々な種類があり、使い方やレベルがちがうので、いろんな人が使いやすくなっていたのがすごいと思いました。(5-1 中村はるね)
- 3年2組の「わなげ」は、難易度ごとに、ペットボトルの本数やかたむきが工夫されていました。難しさもあって、とても楽しかったです。合計で何個入ったかも教えてくれました。(5-2 宮崎英佑美)
- 3年4組の「ありまんをさがせ」は、制限時間内に見つけたありまんの絵によって、点数が違うという工夫があって楽しかったです。お客さん一人一人に担当がいて、分かりやすかったです。(5-2 花島蓮)
- 3年3組の縁日では、「もぐらたたき」や「じゃんけんカード」など、色々な種類の遊びがあってすごく満足感がありました。もぐらたたきは、違う学年の人と協力することができました。(5-3 井上結菜)
- 3年3組の縁日では、様々な遊びの工夫があって驚きました。特に熱中したのは「じゃんけんゲーム」です。簡単に点が取れない工夫がされていて、点を取れた時の喜びが大きかったです。(5-3 山口尚太郎)